

2020年度 第一回

吹田竜ヶ池デイサービスセンター 運営推進会議報告

社会福祉法人成光苑
吹田竜ヶ池デイサービスセンター

【概要】

※新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、特定の場所での会合は行わず、書面の郵送にて報告と意見交換を実施。

対象事業所

吹田竜ヶ池デイサービスセンター「地域密着型通所介護」「認知症対応型通所介護」

参加者

ご利用者ご家族様 2名

千一地区福祉委員様 1名

地域包括支援センターケアマネジャー様 1名

居宅介護支援事業所ケアマネジャー様 1名

吹田竜ヶ池デイサービスセンター4名

佐藤裕之(施設長)、喜多記子(事業部長)、森畑恵介(地域密着型通所介護生活相談員)、中尾和輝(認知症対応型通所介護生活相談員)

期間

2020年10月29日付で吹田竜ヶ池デイサービスセンターより参加者様に報告書を郵送。約2週間でご意見・ご要望についての返信を頂く。

【報告内容】

1. 活動状況報告

2020年度4月～9月までの活動状況をご報告させていただきます。

＜認知症対応型通所介護＞

①ご利用者の状況・推移

2020年 9月現在

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人数	0	0	4	6	5	3	1	19
延人数	0	0	33	63	37	22	13	168

男性 7名 R1年度 9月 平均介護度 男性 2.4 女性 2.3 全体平均 2.4
女性 12名 R2年度 9月 平均介護度 男性 2.4 女性 2.6 全体平均 2.5

前回会議以降の傾向

緊急事態宣言が解除された6月あたりから新規契約数が増えてきました。日常生活動作の状態を含め比較的要介護度の高い方の新規依頼が多くなっている傾向です。

また、認知症対応型の通所介護を求めて当デイサービスにご依頼を頂く件数が増えてきました。

②事故・ご意見

今年度発生した事故やご意見の中から重要なものについてご報告させていただきます。

保険者(吹田市)への報告事項 0件

○送迎車の強引な運転へのご意見

送迎車が強引に曲がってきてバイクに当たったとのご意見を頂きました。匿名であったため場所や状況の詳細はわかりませんでした。しかし運転手や添乗スタッフへの聴き取りを行う中で、送迎時に地域のみなさまへの挨拶や配慮が十分に伝えられていなかったのではないかとこの考えに至りました。これまでも地域のみなさまへ気配り・心配りを行ってきたつもりではありましたが、今回のご意見を受けてより一層相手を優先する意識をもって運転すること、狭い道を通る時や道を譲って頂いた時には必ず相手に伝わるように運転手と添乗スタッフで協力してお礼や挨拶を行うことを他部署含めた施設の全スタッフで共有し実施しております。

＜地域密着型通所介護＞

①ご利用者の状況・推移

2020年 9月現在

	要支援		事業対象者	要介護					計
	1	2		1	2	3	4	5	
実人数	8	4	4	21	12	6	3	4	62
延人数	12	52	10	157	95	38	20	23	407

男性 10名 R1年度 9月 平均介護度 男性 1.6 女性 1.5 全体平均 1.6
女性 52名 R2年度 9月 平均介護度 男性 1.8 女性 1.6 全体平均 1.6

前回会議以降の傾向

近隣の事業所の閉鎖や緊急事態宣言の解除に伴い、5月頃から新規のご依頼が急増いたしました。特に総合事業の方の新規依頼が増えている傾向です。利用回数を増回したいという希望も多く、現在曜日によっては空きが出るのを待って頂いています。毎週の利用ができなくても空いたところを追加利用するといったスポット利用の対応もしております。

②事故・ご意見

保険者(吹田市)への報告事項 1件

○食後薬を誤って他のご利用者様に飲んで頂いてしまった件

ご利用者様のお名前をお顔の覚え違いにより、他のご利用者様のお薬を飲んで頂いてしまう事故がありました。一時期に新規ご利用者様が増えたことでお名前とお顔が一致しないまま服薬の支援に入ってしまったことが原因でした。また、そういった状況になった時のために手順としてご利用者様にお名前を聞かせて頂いてからお薬をお渡しさせて頂くようにしておりましたが、手順の重要性への意識が低下していたことで正しい支援が行えておりませんでした。すぐにスタッフ間で話し合いを行い、手順の重要性を再確認いたしました。また、お薬をお持ちする際に第三者のスタッフも協力し二重での確認ができる方法に変更し、ご利用者様・スタッフともに無理のない手順で服薬の支援が行えるようにいたしました。

2. 円滑なサービス提供を実施するための今年度の重点項目

①サービス提供の漏れや遅れのミスを生じさせない体制作り

みなさまに予定通りご利用頂くのはもちろんのこと、提供させて頂くプログラムの作成のために、生活相談員による予定のダブルチェックを毎月実施し、ご利用者のみなさまが楽しめるサービスの提供に努めております。また、介護スタッフを交えた定例会議にて送迎時の不安や自宅内での必要介護時間などについて検討を行っております。特に最近は送り出しに訪問介護を活用されている方が増えてきており、指定時間が把握しやすい送

迎表の作成など、工夫を行っております。

前年度はスタッフ間の連携ミスによるお迎えの遅れが1件ありましたが、今年度は10月現在0件となっております。

②服薬ミスの発生防止対策

服薬のお手伝いの手順についての確認を毎月の定例会議にてデイサービス全スタッフで実施してきました。しかし新規ご利用者様の増加等もあり、介護スタッフの覚え違いによる誤薬事故が発生してしまいました。定例会議にて全介護スタッフで検討を行い、服薬事故の再発防止に努めております。

前年度は服薬関係の事故件数が0件でしたが、今年度は8月に1件発生してしまったため、前記のような対応を行っております。それ以降、全スタッフが手順に基づいて正しい服薬の支援を実施しております。

3. 今年度の吹田竜ヶ池デイサービスセンターの取り組み

①今年度の取り組み

【認知症対応型】

- ・ご利用者様に日常の中でのやりがいを見つけて頂くために、農園のお世話と編み物をプログラムとして実施しています。農園については以前から取り組みを続けてきたこともあり、スタッフもご利用者様も季節の役割として定着していましたが、新型コロナウイルスの感染予防対策で今年度は大勢での館内移動は控えており、ご利用者様には部分的な参加をお願いしています。編み物は今年度冬の完成に向けて昨年度冬頃から参加者を募って少しずつ進めてきました。女性を中心に楽しみにされている方も増えてきました。
- ・作成した作品等をフロア内に展示することで、ご利用者様同士で感想を伝え合う等、コミュニケーションツールとして活かすことができました。なお、展示については個人情報保護に配慮して行っています。
- ・複数の動作を同時に行うデュアルタスクを取り入れた体操や手遊びを行い、脳と身体を動かす機能の活性化に力を入れています。できなくて当たり前動作が多いのがポイントで、できてもできなくても参加された方みんな笑顔ながら取り組める内容となっております。

【地域密着型】

- ・約3か月毎に「食べたいおやつ・飲み物」のアンケートをご利用者様に取りらせて頂いております。食べたいものを食べるということを通してデイサービスの利用が楽しみ

になるきっかけ作りを行っております。

- ・ハンドマッサージとネイルシールを実施しています。気持ちよくおしゃれになって頂くのはもちろんのこと、スタッフと一対一で行うため普段お話しできないことを話して頂ける場としても効果がでています。感染予防対策を取りながら安心してみなさまに体験して頂けるように努めております。
- ・土曜日はお休みになっている認知症対応型デイサービスの部屋を活用し、プロジェクターで映画を上映しました。懐かしい映画で当時を思い出してお話も盛り上がっていました。今後も定期的実施予定です。
- ・ご利用者様からのリクエストにお答えし定期的に図書コーナーの補充・入替を行っております。今は『大人の塗り絵』シリーズが人気です。
- ・自宅での生活を継続するための筋力維持を目的とした運動や体操を実施しております。ゲーム感覚で楽しくできるように努めております。
- ・新たに作品を展示するスペースを廊下の壁面に作りました。デイサービスで作品を作成する意欲を高める事を目的としております。展示されることを楽しみにしておられるご利用者様が多く、塗り絵や工作など意欲的に取り組まれる方が増えたと感じております。

②新型コロナウイルス感染症の予防対策下でのご利用中のみなさまの様子

巷では高齢者施設でのクラスターの発生が懸念されています。吹田竜ヶ池デイサービスセンターでも厚生労働省からの通達に基づいて感染予防対策を実施しております。マスクの着用のご協力、ご利用前の検温や同居のご家族様の体調確認、こまめな手洗いうがいと手指消毒、換気を実施しております。また、プログラムでは歌は控えめにさせて頂いたり、対面での交流を少しでも減らせるように工夫しています。マスクを外す食事時にはパーテーションを設置させて頂いております。

新型コロナウイルスの影響で提供できるサービスが制限されご迷惑をおかけしておりますが、みなさまのご理解とご協力のもと楽しくデイサービスで活動されています。8月～10月発行のデイだよりを同封しておりますのでそちらで様子をご確認頂くようお願い申し上げます。

③地域とのかかわり

- ・現在第1第3火曜日の習字教室のみボランティアさんの協力のもと実施しております。

その他のボランティア派遣や外出等のイベントにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため見合わせております。流行の状況を見据えながら、再開する際にはご連絡させていただきます。

【ご意見・ご要望】

- ・ ご利用者ご家族様
ご意見・ご要望なし

- ・ ご利用者ご家族様
「母は、帰宅後は即テレビをつけて(時代劇)、気疲れもあるのかわざわざその日の報告をすることはほぼないので、もちろんこちらから聞いた事には答えますが。例えば映画を見たとか爪を切ってもらったとかハンドマッサージをうけたとか全く報告がありません。その日に、どんなことをしたのか簡単な本人記入のメッセージを受け取れると私も嬉しく思います。」

- ・ 千一地区福祉委員様
ご意見・ご要望なし

- ・ 地域包括支援センターケアマネジャー様
「活動報告ありがとうございました。先の見えないコロナ禍の中、感染に留意されながら利用者の皆様のために様々な工夫をされている様子が伺えました。これからも引き続き御活躍いただけます様、応援させていただきたいと思っております。」

- ・ 居宅介護支援事業所ケアマネジャー様
「他のデイ閉鎖にともない、竜ヶ池を利用されるご利用者は、きれいな所に通えてうれしいと言われております。今後ともよろしくお願い致します。」

【ご意見・ご要望への今後の取り組み】

ご家族様から、デイサービスでの様子を知る機会が乏しく、本人が楽しく参加しているのかわからず、家族内で話題にできないとのご意見を頂きました。他のご家族様からも別で機会と同様のご意見を頂いていたこともあり、11月のデイサービス内の会議にて今後の取り組み内容について検討を行いました。

これまで、少しでもスタッフがご利用者様とかかわる時間を多くとれるように、連絡帳には必要事項のみ記載してきました。今回デイサービスご利用中の様子などをより知りたいという多くのご意見を頂いたことで、なかなかご自分でご家族様にお話ができない方には、週に一回、スタッフから連絡帳にご様子を記載させて頂くこととしました。ご利用者様ご自身で日記をつけてみるという案もありましたが、うまく書くことができない方も多いため、スタッフによる記入で実施をさせて頂くこととなりました。

今回の取り組み内容について、会議後にご家族様へのご報告を行い、実施の承諾を頂いて現在取り組んでおります。

また、次回の会議にて経過と合わせてご報告をさせていただきます。

以上